

保健のページ



今月は「アタマジラミ」について紹介します。

アタマジラミは、人間の頭皮に寄生し、血を吸って生きています。成虫でも4mm程度と小さな虫です。卵は白っぽく、フケと見間違える場合もありますが、髪の毛から取りにくいのが特徴です。

園では、月2回頭髪チェックを行っています。集団生活の中で、頭をくっつけ合ったり、布などを介したりしてうつっていくとされています。決して不潔だから感染するものではありません。

髪の毛に、白い卵がくっついていて発見されることが多く、成虫は一日に3~9個の卵を産んでいきます。

一ヶ月で約300個まで増えることになり、自然になくなることはありません。

では、アタマジラミを発見したらどうしたら良いでしょうか？

園で発見された場合には、お子さんのプライバシーに配慮し、対応を行っています。

保護者の方に了承を得て、スミスリンシャンプーで洗髪し、専用のクシで卵を漉き取ります。卵のついている髪の毛を必要最小限の長さで一本ずつ切れます。

ご家庭でも専用シャンプーでの洗髪と、卵を取る作業をしていただき、双方に拡大防止に努めます。

非常に時間と根気のいる作業になりますが、卵がなくなるまで毎日繰り返していきます。

また、同居のご家族にもうつっていることが多いので、タオルの共有や寝具の共有は避け、ご家族の頭髪もご確認ください。

布団やまくらを干し、シーツやまくらカバーも洗濯します。アイロンをかけるとより効果的です。

ご家庭で、「もしかしてアタマジラミかな？」と思われる場合は、小児科や皮膚科にご相談ください。

【窒息・誤飲に注意】

節分などで豆に触れる機会の多い2月ですが、硬い豆やナッツは、窒息・誤飲のリスクが高いため、注意が必要です。奥歯が生えそろっていない子どもは、うまくかみ碎くことが出来ず、喉や気管に詰まらせる事故が報告されています。5歳以下の子どもには、豆を食べさせないように消費者庁から通達が出ています。

また、恵方巻などの海苔も噛みきりにくい食材の一つです。子どもの場合は、恵方巻の丸かぶりはリスクが高いので、小さく切り分け、飲み物も用意し食べる様子を見守りましょう。恵方巻の中には、いつも食べ慣れていない食材が入っていることもありますので、食形態に合ったもののか併せてご確認ください。

口に物が入ったまま、走ったり、笑ったり、泣いたりすることも窒息・誤飲のリスクが高い行動です。

食事をするときは、よい姿勢で、食べることに集中できるように関わっていきましょう。

看護師より

